



こまつ座 —— 沖縄特別公演(朗読) ——

父と暮せば

「井上ひさし全芝居・その六」所収・新潮社刊



作 井上ひさし 演出 鷗山 仁
松角洋平 瀬戸さおり

前売り開始日 9月27日(土) 入場料 3,000円(税込) 高校生以下 500円(税込)

那覇公演 2025年11月19日(水) 開演13:00 那覇文化芸術劇場なはーと 小劇場

宮古島公演 2025年11月20日(木) 開演19:00 宮古島市文化ホール(マティダ市民劇場)
11月21日(金) 開演14:00 後援:一般社団法人宮古島市文化協会 宮古島市教育委員会

※21日は中学生団体鑑賞公演(一般入場可)

お問い合わせ こまつ座 03-3862-5941 <https://www.komatsuza.co.jp/> 〒111-0052 東京都台東区柳橋1-30-5-503 ✕@komatsuza @komtsuza_official

『父と暮せば』『木の上の軍隊』『母と暮せば』

こまつ座戦後“命”の三部作 第一弾。

2025年 戦後80年 7月に新たなキャストで上演した

『父と暮せば』が朗読で沖縄上演。



松角洋平(竹造)



瀬戸さおり(美津江)

父と暮せば

井上ひさし
鶴山 仁
演出 作

「井上ひさし全芝居・その六」所収・新潮社刊

こまつ座 沖縄特別公演(朗読)

わたしたちは、こうした核状況下に生きる人間の一人として、人類がこの悪魔の罠から抜け出す日まで、この芝居を上演し続ける決心である。世界中のひとびとがこの劇の娘のようになれば、前へ進んで生きる力を得ることができるように——

井上ひさし

<あらすじ>

舞台は原爆投下から三年後の広島。市立図書館で働きながらひとり静かに暮らす美津江の胸の内には、ほのかな恋心が芽生え始めていた。そんな美津江の前に、まったく突然に父竹造があらわれる。しかし核兵器のもたらしたおぞましい悲劇は可憐な娘の心にも大きな傷跡を残していた。生きる喜びをなくしてしまった娘にふたたび希望の光を甦らせるために、いま、父は全身全霊で娘に語りかける。

那覇公演

2025年11月19日(水) 開演13:00

那覇文化芸術劇場なは一と 小劇場

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3丁目26-27

宮古島公演

2025年11月20日(木) 開演19:00

11月21日(金) 開演14:00

※21日は中学生団体鑑賞公演(一般入場可)

宮古島市文化ホール(マティダ市民劇場)

〒906-0013 沖縄県宮古島市平良下里108-12

後援：一般社団法人宮古島市文化協会 宮古島市教育委員会

※上演時間：90分 ※開場は開演の30分前

※当日券：開演の1時間前に劇場入口にて発売いたします

前売り開始日 2025年9月27日

入場料 一般 3,000円(税込)

高校生以下 500円(税込)

チケットお申込み

チケットのお申込みは、お電話または下記QRコードよりお願いします。

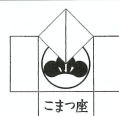
こまつ座 03-3862-5941



お問い合わせ こまつ座 03-3862-5941 <https://www.komatsuza.co.jp/>

〒111-0052 東京都台東区柳橋1-30-5-503

✕ @komatsuza @komatsuza_official



四国

◆オペラシアターこんにやく座◆

オペラ『あん』

5月18日 西予市宇和文化会館

5月21日 新居浜市あかがねミュージアム

5月22日 宇多津町ユウプラザうたづ

オペラ『ルドルフとイッパイアッテナ』

7月26日 佐川町立校舎

7月27日 藍住町総合文化ホール

7月29日 四万十市総合文化センターしまんとはびあ

生活の中に演劇を —新しい活動拠点形成事業—

主催

公益社団法人 JAPANESE THEATRE CONFERENCE

日本劇団協議会

助成

文化庁 文化芸術振興費補助金

舞台芸術等総合支援事業(全国キャラバン)

独立行政法人日本芸術文化振興会

石川

◆無名塾◆『幽霊』

10月10日~10月15日 能登演劇堂

沖縄

◆青年劇場◆『星をかすめる風』

11月16日 うるま市民芸術劇場

11月18日 浦添市アイム・ユニバースでだこホール

◆こまつ座◆朗読劇『父と暮せば』

11月19日 那覇文化芸術劇場なは一と

11月20日 宮古島市文化ホール マティダ市民劇場

11月21日 宮古島市文化ホール マティダ市民劇場

